

全国大会の成績

国民体育大会

栃木国体

少年女子監督 前川 矩英

監督 前川 矩英（高山西高等学校）
 コーチ 川畑 竜也（済美高等学校）
 コーチ 平澤 直弥（大垣北高等学校）

選手
 先鋒 高瀬 円香（済美高等学校）
 次鋒 若尾 樺子（高山西高等学校）
 中堅 森 文那（高山西高等学校）
 副将 井澤 言美（中京高等学校）
 大将 樋口 恵淑（高山西高等学校）

東海ブロック大会では三重国体の強化を受け継いで勢いのある三重県が本命としてあげられる中、東海ブロックに臨みましたが、初戦の相手が本命である三重県だったのが結果的に良かったのだと思います。先鋒から気迫あふれる試合を展開してくれて良い流れのまま試合を進めることができました。結果三重県に5-0で勝つことができて、そのままの流れを維持し、3戦全勝で本国体出場を決めました。

本国体一回戦は鳥根県でした。先鋒・次鋒戦が勝利への鍵になると感じていましたが、高瀬選手（済美高校）、若尾選手



少年女子岐阜県チーム

（高山西高校）が気迫あふれる試合で、前2つ勝利で中堅につながることができました。中堅・副将・大将はその勢いのまま勝利を収めることができ、初戦を5-0で勝ち抜くことができました。二回戦の相手は香川県でした。この試合も先鋒・次鋒が1本勝ちで勝利してくれて、2-0で中堅戦となりました。中堅戦試合の中盤で、森選手（高山西高校）が思いきった面を打ち込んだのですが、相打ちになり1本負け。副将井澤選手（中京高校）も攻める間もなく2本負け。2-2の本数負けの状態で大將戦となりました。岐阜県の大將を務めていた樋口選手（高山西高校）が終始攻め続けて惜しい技もたくさんありましたが結果引き分けとなり、

勝者数2-2・本数2-3で二回戦敗退となり、5位という結果となりました。この本大会に出場するにあたり、岐阜県剣道連盟理事長である下島先生をはじめたくさんの方の先生方にご支援とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。今回の大会での経験を生かし、来年度の東海ブロック大会に向けて高体連剣道専門部強化委員一同精進していきます。本大会にありがとうございました。

いちご一会とちぎ国体

成年男子監督 近藤 宏治

新型コロナウイルス感染症の拡大により、3年ぶりの開催となりました栃木国体が、10月3日から10月5日までの間、ユウケイ武道館（栃木県総合運動公園武道館）で行われました。

成年男子選手

先鋒 小林 賢哉（岐阜県警察）
 次鋒 大野 祐史（岐阜県警察）
 中堅 野田 了（岐阜県警察）
 副将 早田 千広（日本耐酸塩）
 大将 浅野 英二（岐阜県警察）

本大会は、過去の大会と異なり、試合時間内に勝負が決まらなかつた場合は、引き分けとなり、チームの勝者数、取得本数が同点の場合は、代表者の一本勝負によりチームの勝敗を決定することとなりました。

1回戦 岡山県戦

先鋒 小林 開始早々面返し胴を決めるも、その後面を返され引き分け。次鋒 大野 試合中盤に面を決められ一本負け。中堅 野田 相手の動きをよく見て

面の一本勝ち。副将 早田 実力者に対して果敢に攻めるも小手と面の二本負け。大将 浅野は、果敢に攻め技を出したところ小手と面を決められ二本負け。チームの結果は、1対3で敗退しました。栃木国体出場に際しまして、ご支援、ご指導いただきました皆様に感謝申し上げます。

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
岐阜県	小林	大野	野田	早田	浅野	△ 2 1
岡山県	丸山	川井	尾池	楠本	馬場	○ 6 3

第43回東海ブロック大会

令和四年度国民体育大会第四十三回東海ブロック大会剣道競技が、八月二十一日（日）岐阜県多治見市の「感謝と挑戦のTYK体育館」で開催されました。

東海四県の三重、愛知、静岡、岐阜でリーグ戦方式で行われ、岐阜県は、少年女子が、一位の好成績を収めました。試合結果は、次のとおりです。